

左近山中だより

令和3年 1月26日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 9

「新年にあたって」

校長 福田有志

新年となり、6日から生徒のみなさんが元気に登校して、学校が再開しました。現在、教室には冬休みの課題である書初めが展示されています。各自の書初めの文言と同じように生徒のみなさんが、一人ひとりの今年の目標に向かって、日々の生活を楽しく、有意義に過ごしてもらいたいと願っています。

さて、今年も穏やかな陽気でお正月を迎えることができましたが、日本海側の地域では、年末年始の寒波の影響を大きく受けたところがありました。大雪のために何十台という自動車が立ち往生する光景は、自然の計り知れない力を感じざるを得ません。以前雪国に住む友人が、「降り積もる雪を屋根から降ろさなければ、家がつぶれてしまう。雪下ろしは本当に大変なことだが、やらなければならない。命に関わることだから。」と話していたのを思い出しました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが多々ありました。昨年度末から5月末までの休校、学校行事の延期や中止、部活動の制限や大会の中止など多くの活動ができなくなりました。今まで当たり前に行ってきたことをできなくなったり、今までとは違ったことをやらなければならなくなったりすることがありました。様々な場面で誰もが残念な思い、悔しい思いをしたのではないかと思います。そのような経験をする中で、私自身も今まで当たり前に行っていた日常生活のありがたさを痛感しています。

新年となって早くも一か月が過ぎようとしています。3年生は卒業後の進路そして将来を考えて、進路を選択しました。体調を万全にして、入学選抜検査で力を発揮してもらいたいと思います。2年生は心身共に成長した姿が見られます。3年生が3月11日に卒業した後、学校を代表する学年となります。生徒会役員や専門委員、部活動などで既に中心となって活躍していますが、より一層の活躍を期待しています。1年生は一年間の中学校生活を踏まえて、心身ともに成長していくことを期待しています。

今年も、保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、日々の教育活動を行っていきたいと考えています。様々なことが例年とは異なる形態での実施を余儀なくされている中、今までの形態を変えながらも物事を進めていくことも必要かと思えます。したがって、今後も状況に応じて、年間の教育活動を実施していく予定です。よろしくお願いいたします。



旭警察署サイバー教室

12月にスマートフォン等の利用について、『犯罪を起こさない、犯罪に巻き込まれない』ためのサイバー教室を旭警察署の協力のもと開催しました。

新型コロナの感染拡大を防ぐため、今回は、学年ごととし、1・2年生のみの開催としました。講師は、旭警察署生活安全課防犯少年係の小野衣里子様、スクールサポーター大宮明子様をお願いいたしました。

近年、SNS等を通してのトラブル、被害が多く出てくるようになりました。日常でのやりとりのつもりが思わぬ誤解を招いたり、相手に強い不安を与える行為になったりすることを確認しました。また、オンラインゲームでの多額の請求や著作権に関わる違法アップロードなど、社会における法律という観点からもお話しいただきました。元々は、便利で、連絡手段としても安心できる等の理由から購入されたはずのものが、いつしか相手を傷つけたり、不安で手放せないものになったりしている場合も少なくないことを実感しました。

今後、スマートフォンやタブレット、パソコン等、インターネットを利用した遊びや学習、情報収集・発信が、頻繁に行われる時代になっていきます。子どもたちが操作や扱い方を覚えていくのはとても速いです。それと同時に大人のような危険を感じるフィルターが未熟なのも事実です。『これくらいなら大丈夫だろう』、『みんなやっているから…』というようなことが、ある日事件に発展し、その後の人生さえ左右させてしまう可能性があることを改めて考えさせられました。

ぜひ、ご家庭でも子どもたちに講演の内容や今の使い方をお聞きいただいて、今後の利用の仕方についてお話しいただければと思います。

(生徒指導専任教諭)



はまっ子読書の日

1月18日（月）に、図書委員による「はまっ子読書の日」の生放送が行われました。これが後期の図書委員メンバーで行う初めての大きな企画です。この日のために、冬休み前から役割分担を決め、それぞれ自分の担当となった企画内容を考えてきました。

今回の企画は、1年生のPOP紹介、図書委員が選んだ新刊本の紹介、そして「絆」というテーマに沿った本の読み聞かせです。POP紹介や新刊本の紹介は、視聴してくれる人たちに興味をもってもらえるように原稿を作ったり発表を工夫したりしました。読み聞かせは、「絆」というテーマ決めから、今回読まれた「ずーっとずっと、大好きだよ」という本の選定まで行いました。普段当たり前にいる存在が、実は自分にとって特別なんだということに気づいてほしい。そんな思いを込めてテーマを決めました。

今回紹介した本は、図書館で展示されています。借りることができますので、ぜひ手に取ってみてください。

（図書委員会担当）



書き初め

今年も、冬休みの宿題として書き初めの課題がありました。国語科職員による審査を行い、金賞の作品を職員室前の廊下に掲示します。同時に、横浜市の総合文化祭に出品した作品も展示予定です。

(国語科)

令和2年度

「金賞受賞者 1年生3名、2年生3名、3年生4名」

「総合文化祭出品 1年生2名、2年生2名」



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1月8日に、神奈川県を含む1都3県への緊急事態宣言が行われました。

学校では、「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に沿って授業や部活動の内容や活動形態、活動範囲、衛生管理等、より一層注意と工夫を重ねて対応しているところです。

継続的な取り組みとしては、登校時の健康観察票の確認、手洗いの励行、適切な換気、距離の取り方などへの指導と実施をしています。

中でも適切な換気は、夏場同様、エアコンを使用しながら行っています。生徒保健安全委員会の企画で、今年度は『換気大作戦!』と銘うって、休み時間に適切な状態で換気ができるよう呼びかけと確認をしています。開始後2週間が経ちましたが、どのクラスも意識をもって適切な換気が行えている様子です。

新型コロナ感染症が拡がりをみせ1年となりますが、その状況の中、新しい生活様式について生徒が主体的に考え発信する姿がみられ、頼もしく感じます。

今後も、学校では感染予防・拡大防止対策を徹底していきます。

先日メール配信もさせていただきましたが、ご家庭でも健康観察および健康観察票記入の確認や声かけの継続、放課後や休日の過ごし方について話をするなど、ご協力をお願いいたします。



(養護教諭)